

上今井左岸地区埋立て
地元説明会資料

令和6年3月10日
千曲川河川事務所

左岸埋立て全体計画図

左岸埋立て全体計画

- ◆ 上今井遊水地で発生する土砂を、地元要望を踏まえ、築堤を行った上でその背面を堤防高と同程度の高さに埋立てを行う
- ◆ 埋立てにあたっては借地を行い、埋立て後には現在の土地利用と同様となるよう諸施設を復旧する

【埋立て整備後】

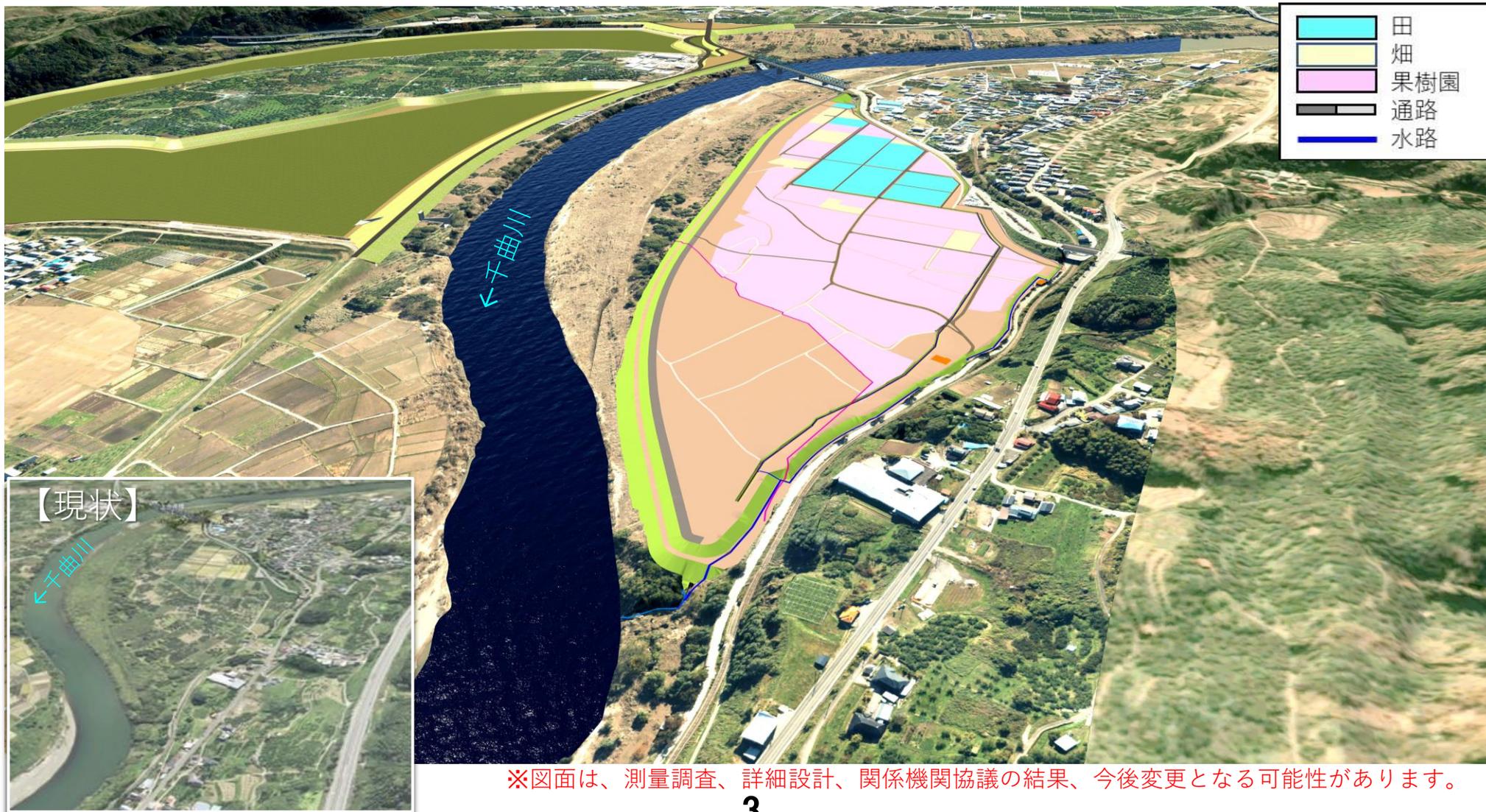


※図面は、測量調査、詳細設計、関係機関協議の結果、今後変更となる可能性があります。

左岸埋立て全体計画

- ◆ 上今井遊水地で発生する土砂を、地元要望を踏まえ、築堤を行った上でその背面を堤防高と同程度の高さに埋立てを行う
- ◆ 埋立てにあたっては借地を行い、埋立て後には現在の土地利用と同様となるよう諸施設を復旧する

【埋立て整備後】

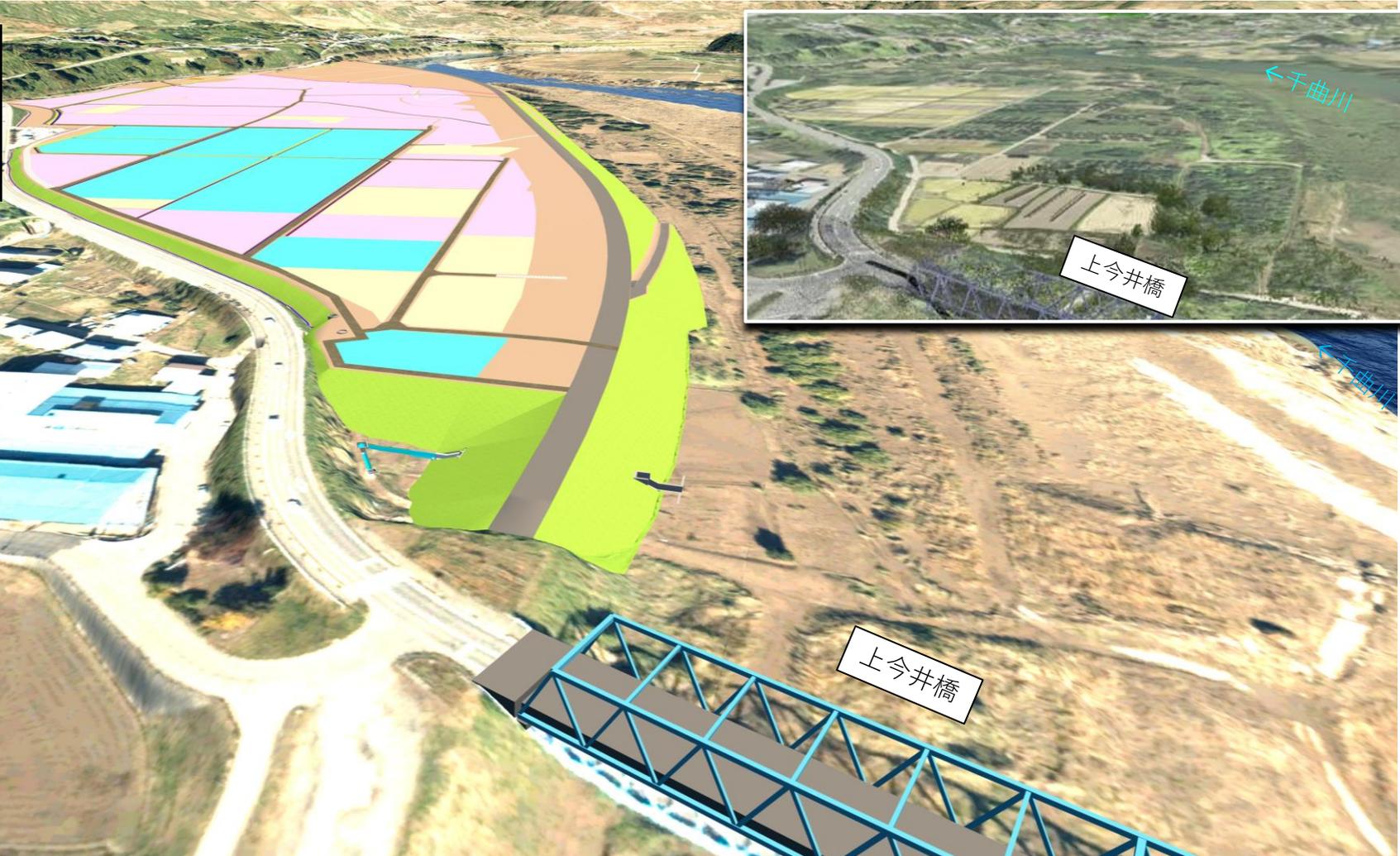


左岸埋立て計画(県道三水中野線脇)

◆ 県道三水中野線のうち、チェーン脱着所から上今井橋橋詰めの間は道路高が堤防高より低く、盛土法面が出現する

【埋立て整備後】

【現状】



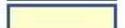
※図面は、測量調査、詳細設計、関係機関協議の結果、今後変更となる可能性があります。

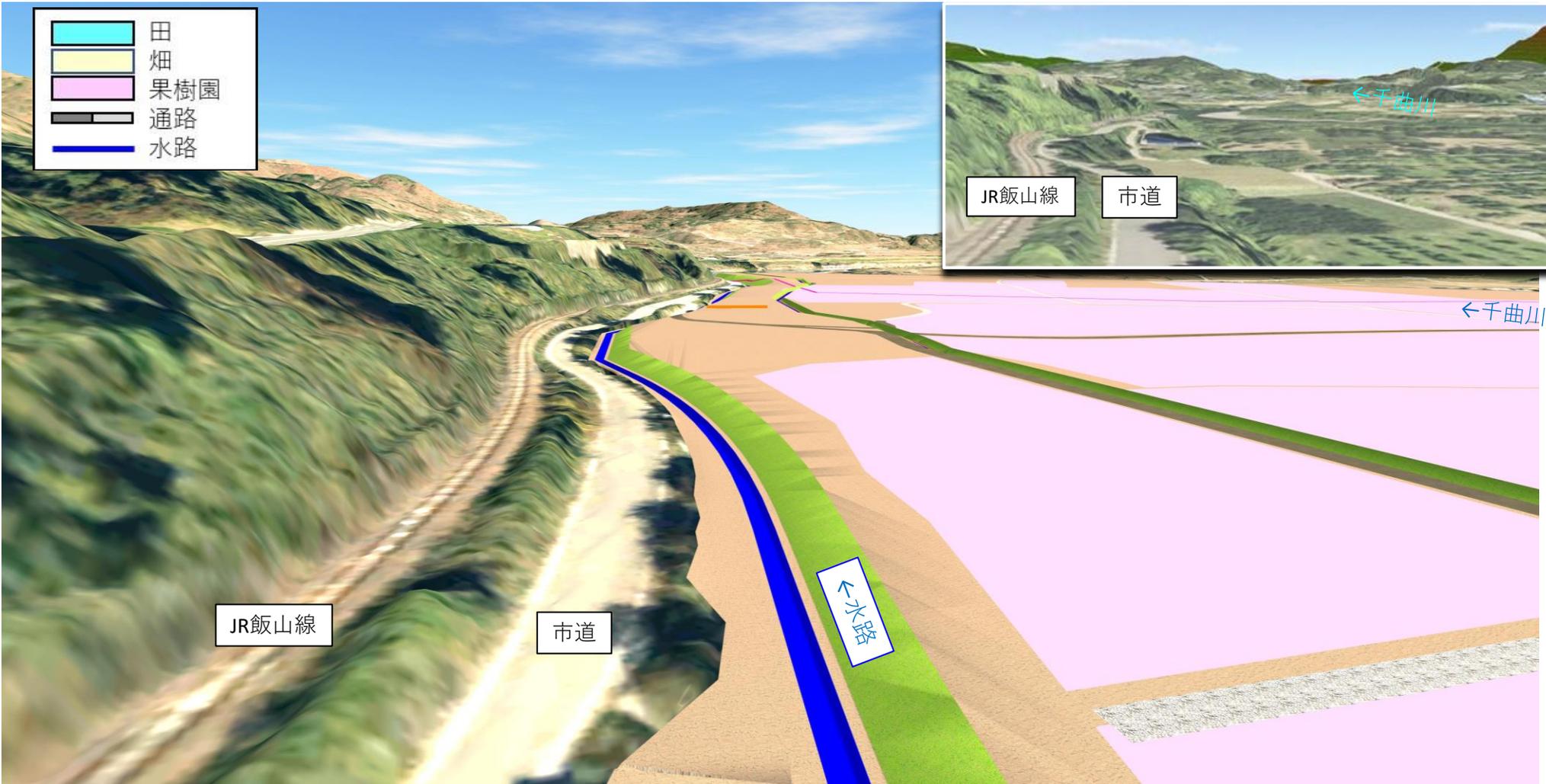
左岸埋立て計画（JR飯山線脇）

- ◆ 埋立て高はJR飯山線の軌道面とほぼ同程度の高さとなるが、山側からの水路の設置を考慮し、水路までは道路高と同一高さとし、水路脇から埋立て高となるように埋め立てを行う

【埋立て整備後】

【現状】

	田
	畑
	果樹園
	通路
	水路



※図面は、測量調査、詳細設計、関係機関協議の結果、今後変更となる可能性があります。

埋立地平面計画

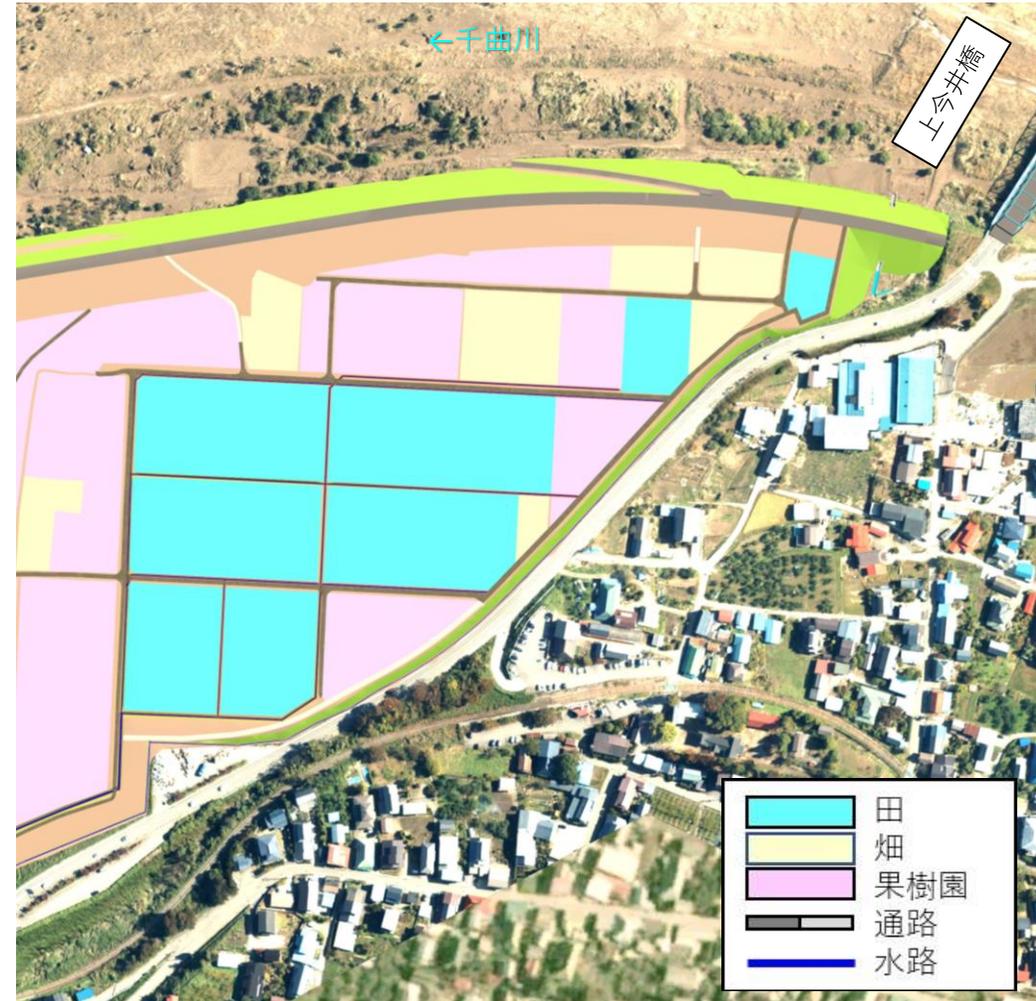
埋立地平面計画(水田側)

- ◆ 田んぼについては、現在の通路、水路位置を変えずに復旧を行う
- ◆ その周辺の通路についても同様とする

【現状】



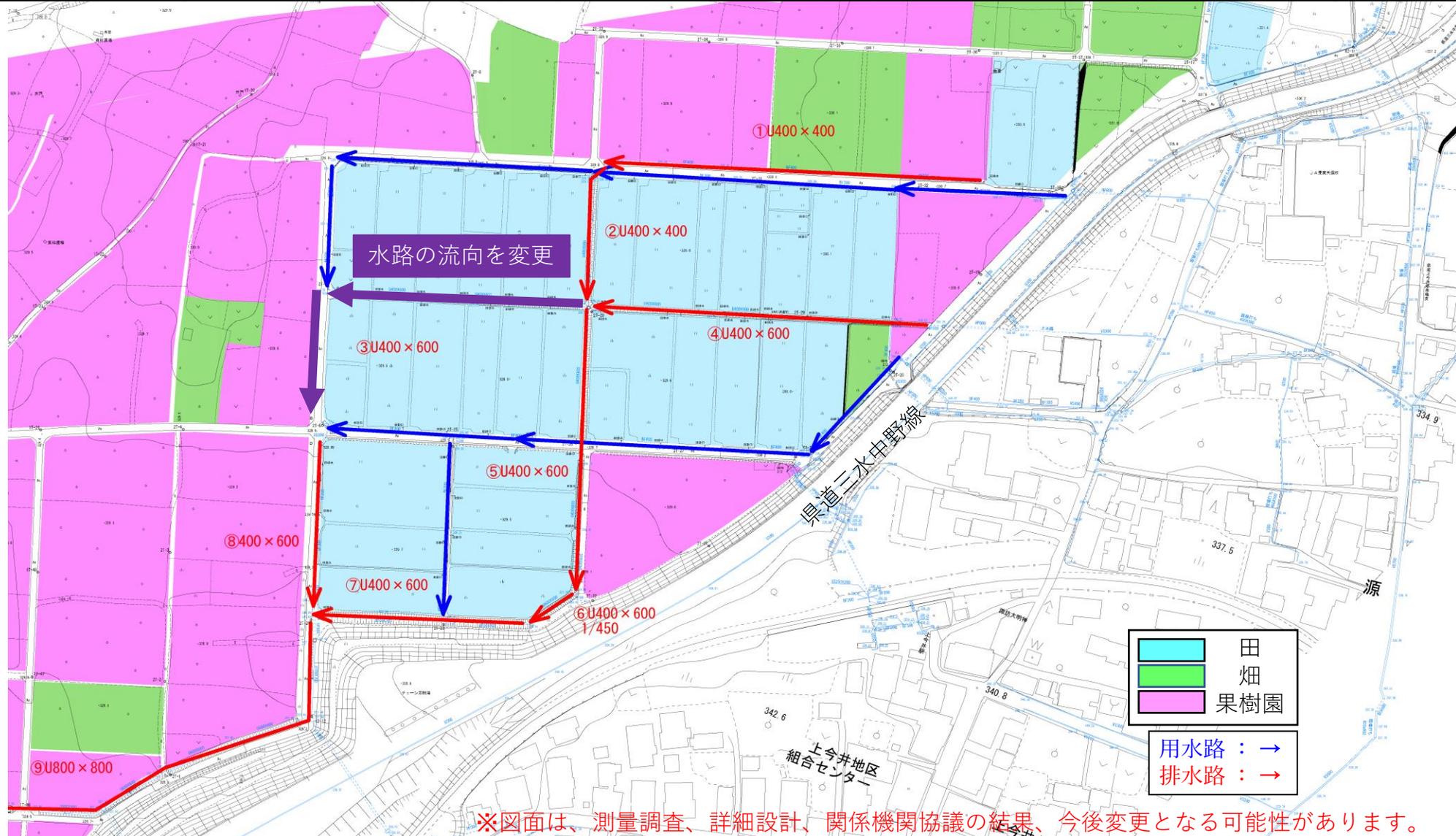
【復旧後】



※図面は、測量調査、詳細設計、関係機関協議の結果、今後変更となる可能性があります。

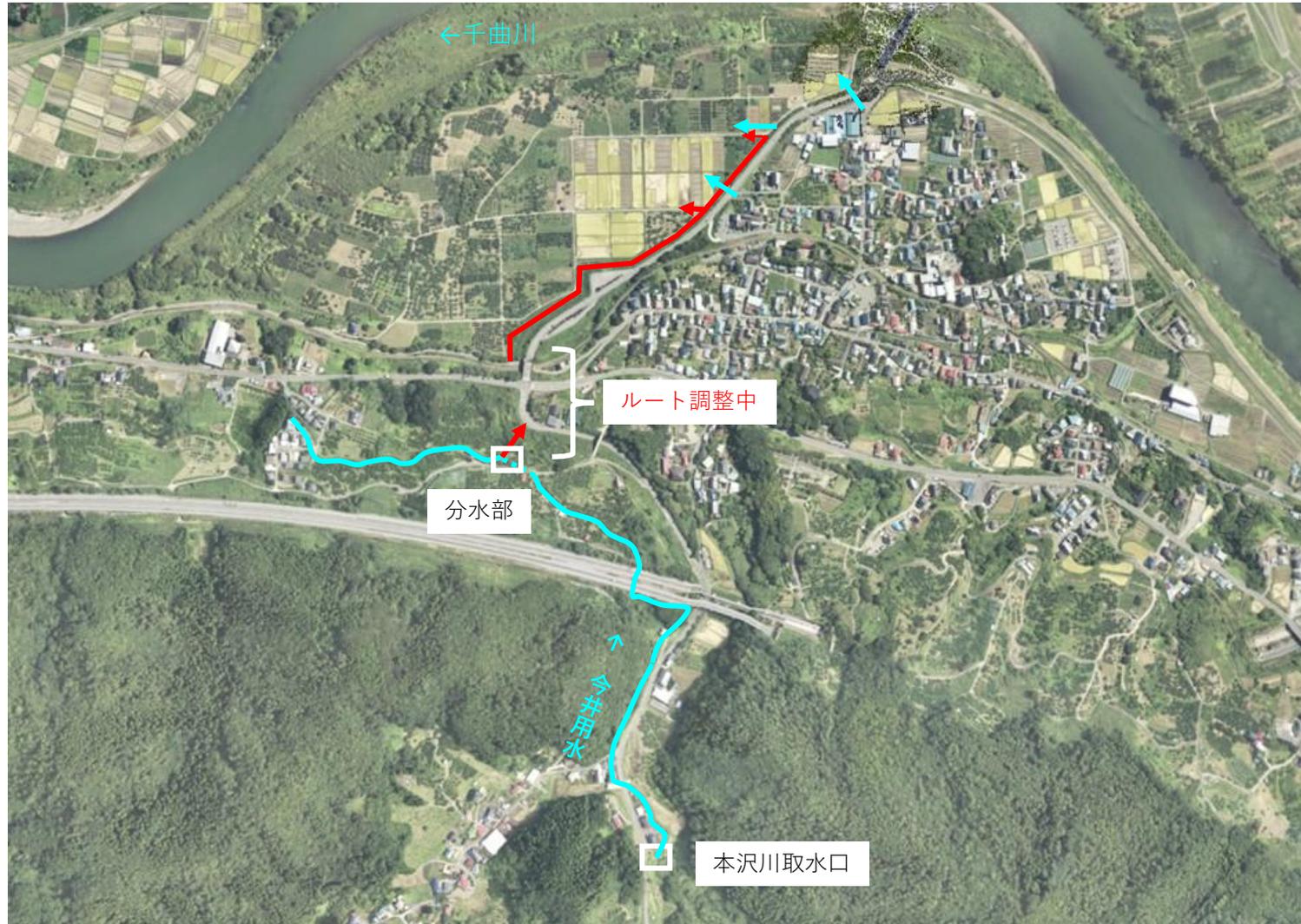
埋立地平面計画(水田側;水田内の水路)

- ◆ 用排水路は、田んぼ同様、現在の位置を基本に復旧する
- ◆ 復旧にあたっては、維持管理の軽減に配慮して復旧を行う



埋立地平画計画(水田側;用水)

- ◆ 現在耕作地内の用水は上今井集落内を流下し県道下の暗渠を通じて供給されているが、埋立てにより供給が不可能となる
- ◆ そこで、今井用水の道路改良前の分派点から分水し、山側から用水を供給する水路の復旧を行う



本沢川取水口



分水部

- 用水路 (現況)
- 用水路 (移設計画)

※図面は、測量調査、詳細設計、関係機関協議の結果、今後変更となる可能性があります。

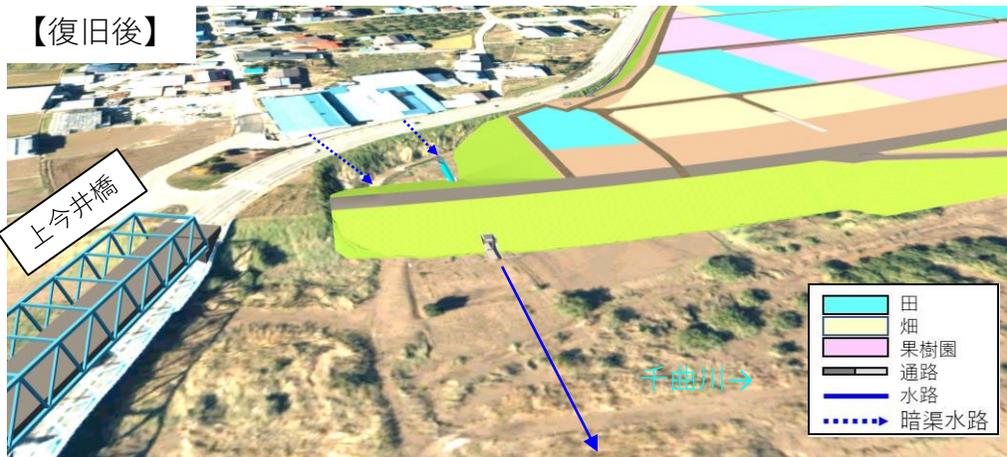
埋立地平画計画(水田側;排水)

- ◆ 集落内を流れる排水のうち一部は、県道下の暗渠から埋立て地側に排水されているが、用水同様排水が困難となる
- ◆ 現状の排水機能を復旧させるため、暗渠管を統合させて流末には樋門を設けるとともに、集落内の水路の一部区間も暗渠統合のため改修する

【現状】

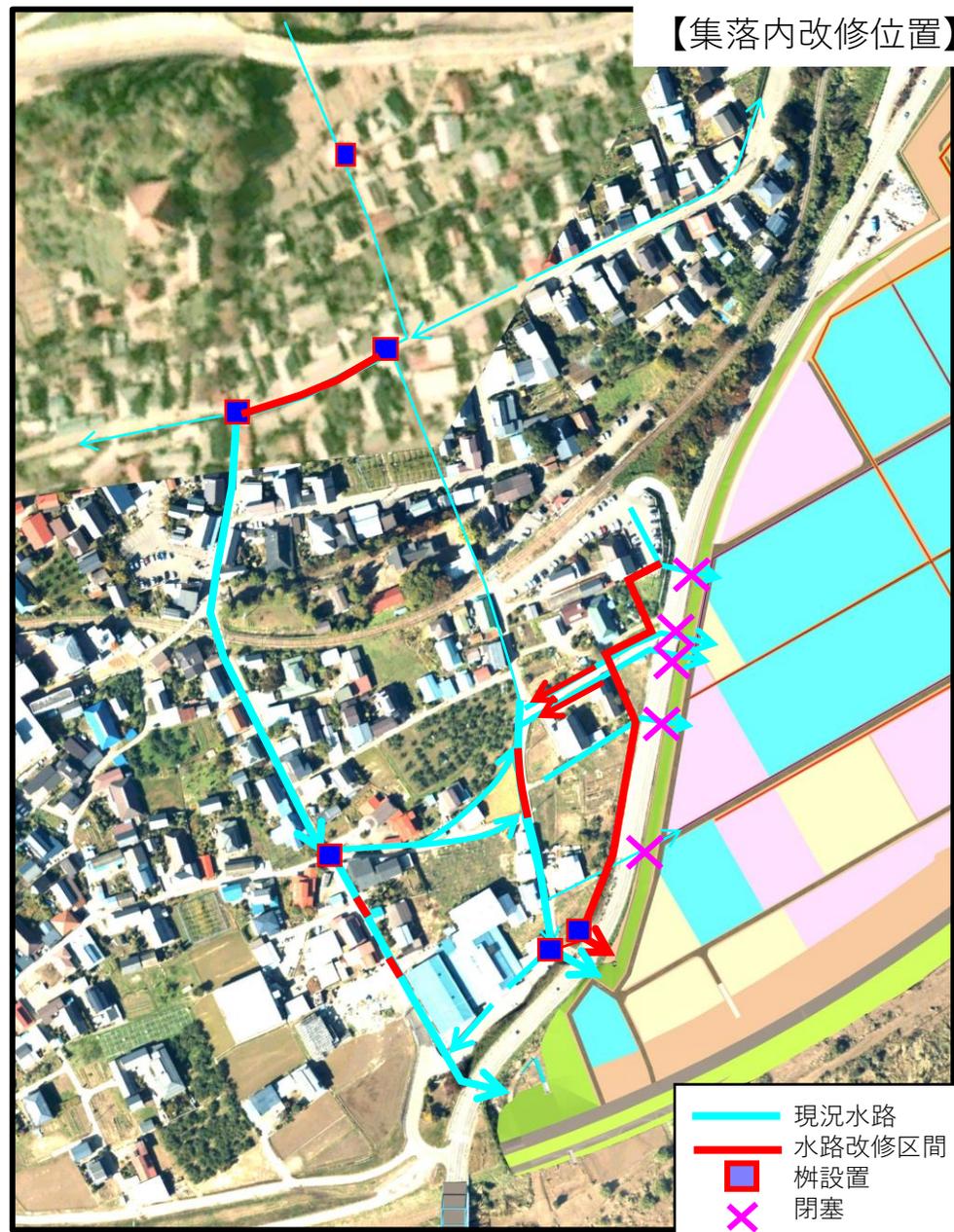


【復旧後】



※図面は、測量調査、詳細設計、関係機関協議の結果、今後変更となる可能性があります。

【集落内改修位置】



- 現況水路
- 水路改修区間
- 樋設置
- × 閉塞

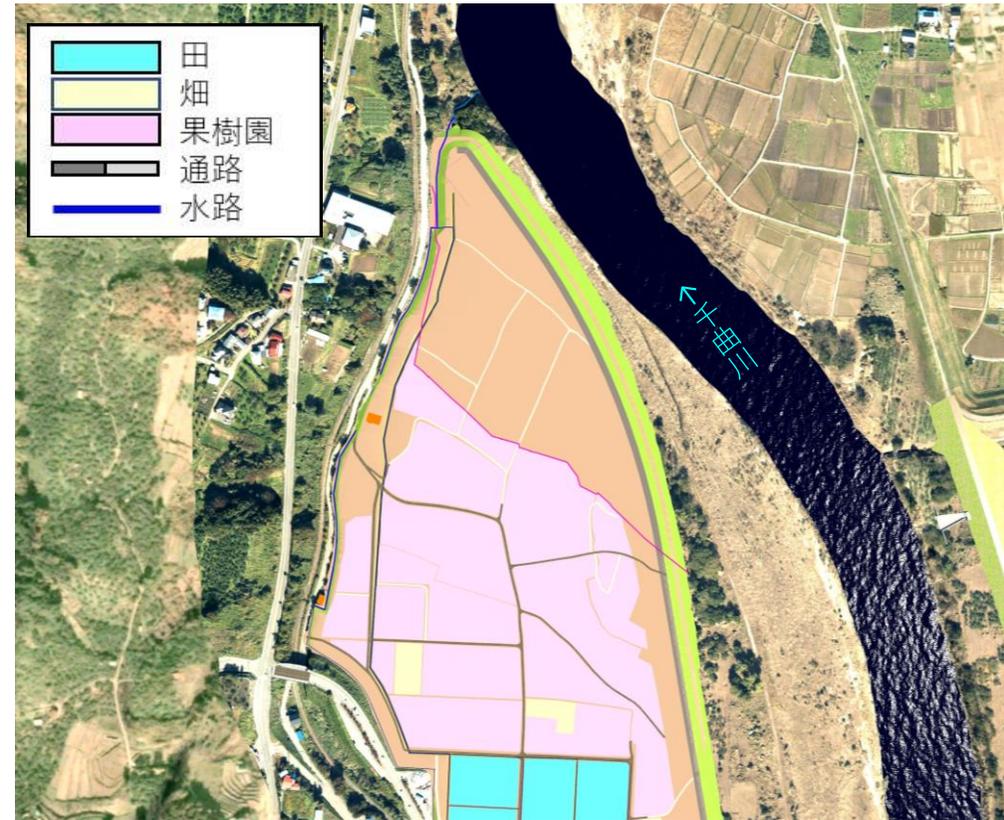
埋立地平面計画(畑側)

◆ 畑側についても水田側同様に、現況の通路位置を基本に復旧を行う

【現状】



【復旧後】



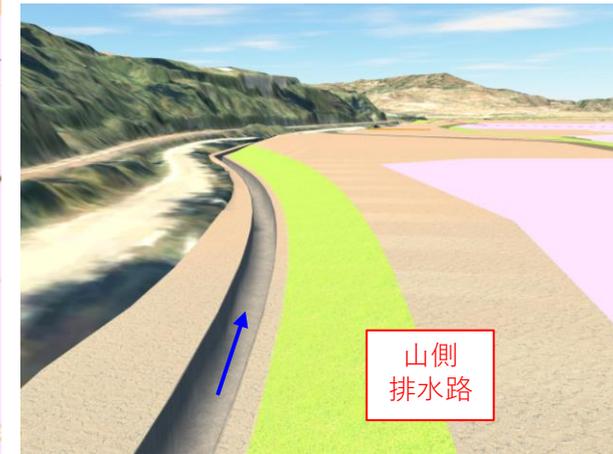
※図面は、測量調査、詳細設計、関係機関協議の結果、今後変更となる可能性があります。

埋立地平面計画(畑側;排水)

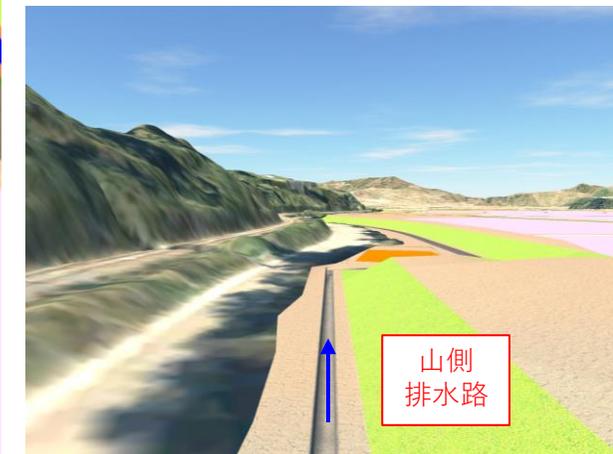
- ◆ 山側からの排水は、埋め立てた上に排水路を復旧する。概ね、道路法面の用地内に配置する
- ◆ 水田及び埋立て地からの排水は、現況の水路敷上に排水路を復旧する。流末で山側の水路与合流させる



①-①位置



②-②位置



※図面は、測量調査、詳細設計、関係機関協議の結果、今後変更となる可能性があります。

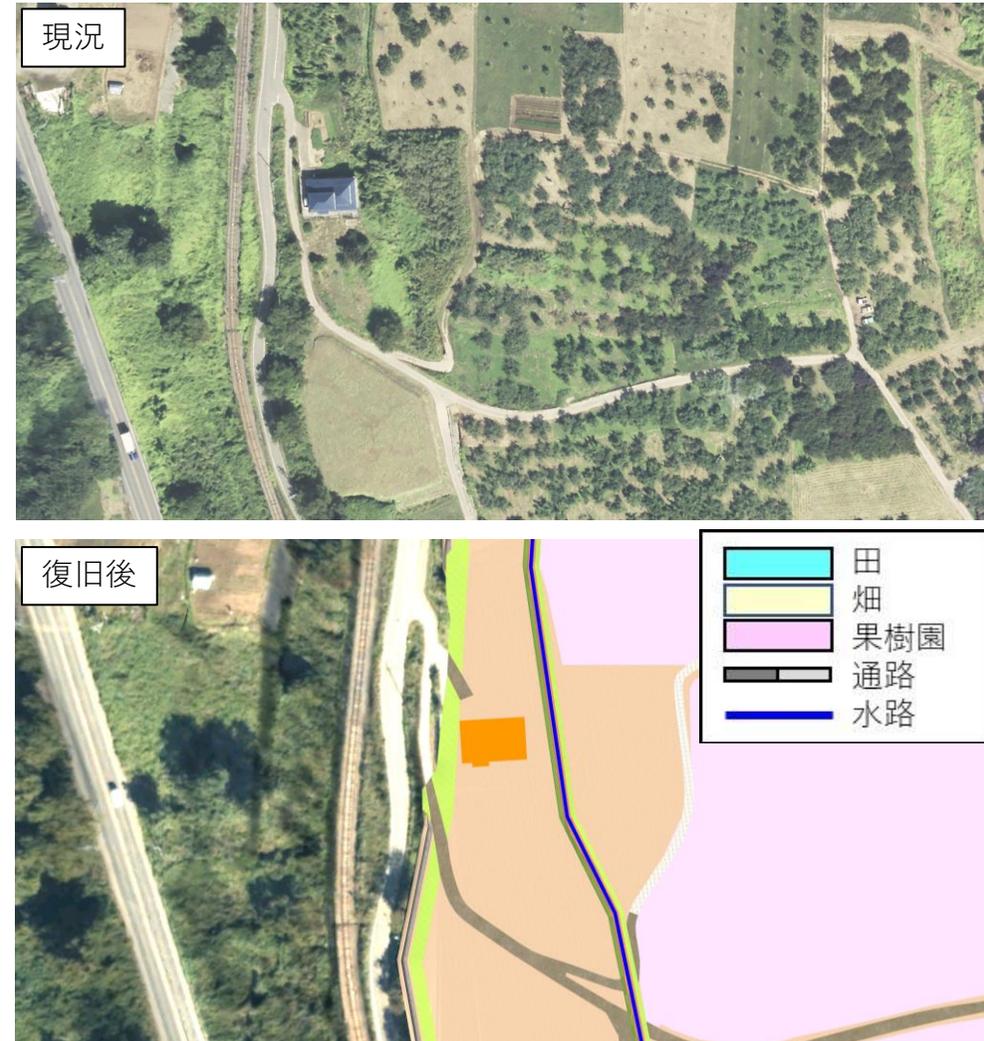
埋立地への進入口

- ◆ 埋土高は道路高より80cm程度高いため、跨線橋脇に進入口を設ける。(工事の際に利用する場合がある)
- ◆ 現在の進入口と同一位置に進入口を復旧する

【跨線橋脇】



【現在の進入口】



※図面は、測量調査、詳細設計、関係機関協議の結果、今後変更となる可能性があります。

埋立地への進入口(県道脇)

- ◆ 現状、県道からの直接進入口はないため、堤防へ乗り上げる坂路を設ける
- ◆ 県道からの乗り入れについては、中野市との調整が必要

復旧後

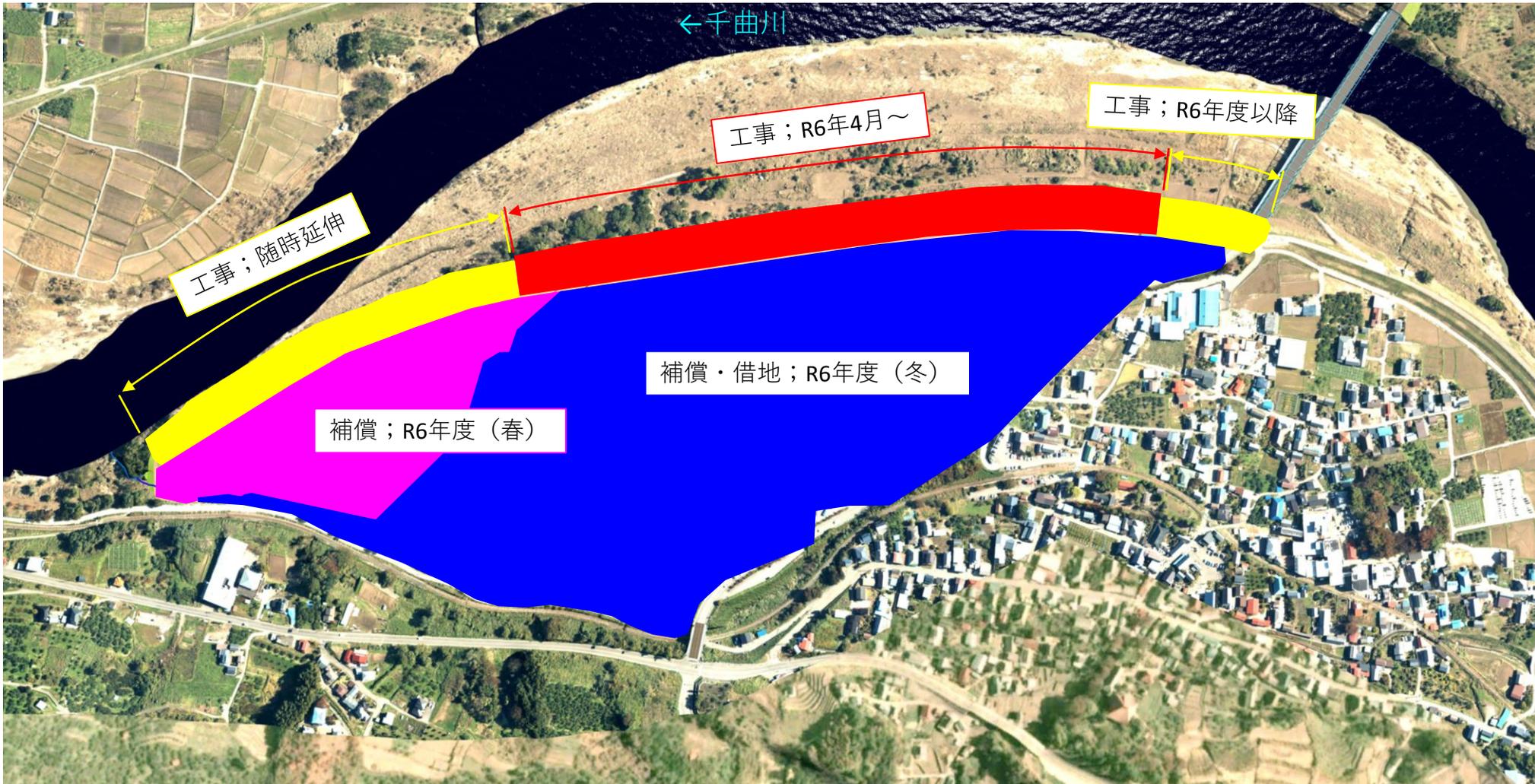


※図面は、測量調査、詳細設計、関係機関協議の結果、今後変更となる可能性があります。

今後のスケジュール

スケジュール平面図

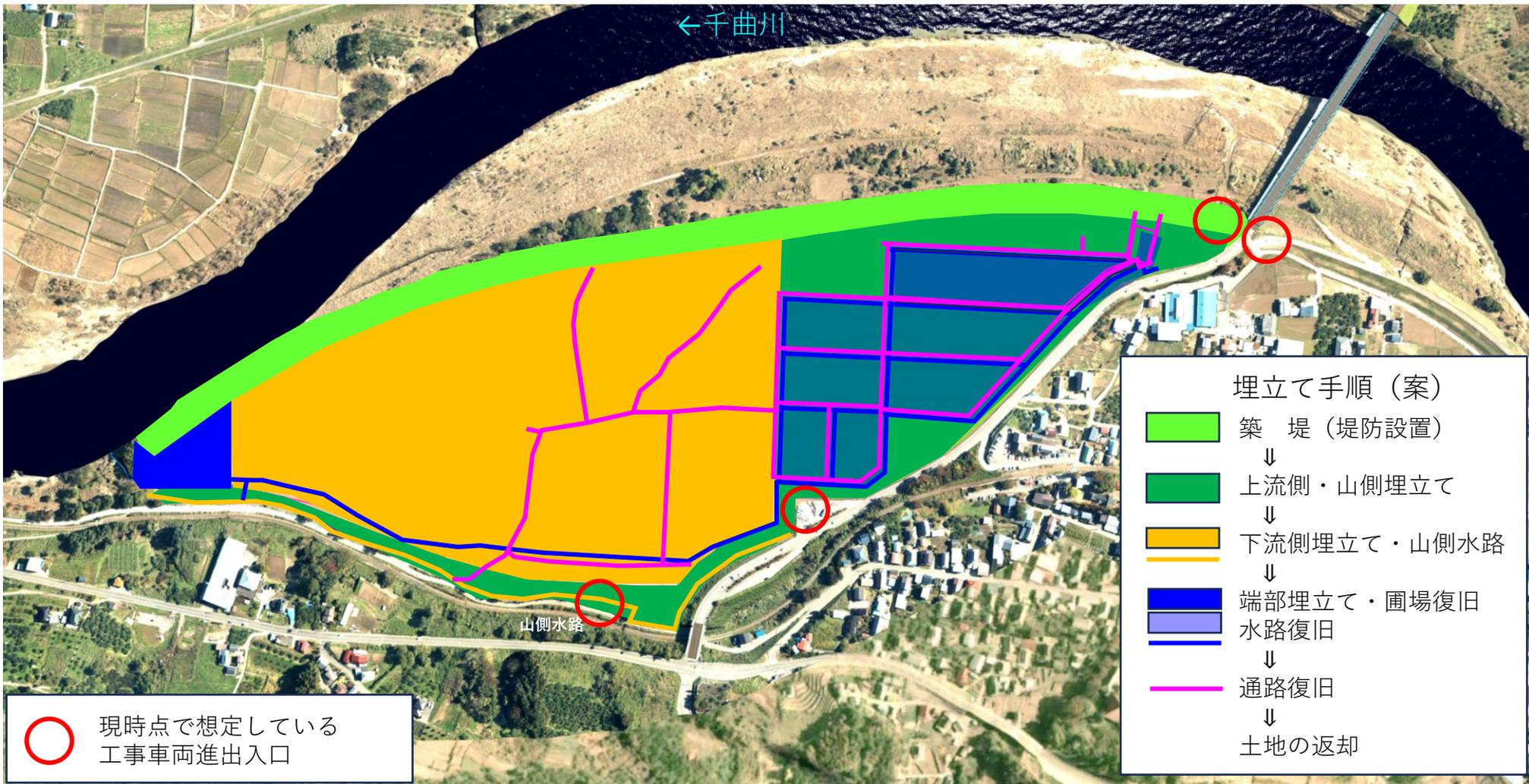
- ◆ 堤防工事; 令和5年度より工事を実施し、随時延伸していく
- ◆ 埋立関係; 令和6年度春より一部区域(図中桃色枠範囲)の活用を始め、令和6年度冬から耕作地の借地を始める
- ◆ 埋立ては、遊水地側での用地買収の進捗によるが、令和7年度より本格埋め立てに着手してまいりたい



※図面は、測量調査、詳細設計、関係機関協議の結果、今後変更となる可能性があります。
※工事の進め方は、詳細設計、地域との調整などにより、今後変更となる可能性があります。

埋立ての進め方

- ◆ 埋立ては、築堤後に上流側及び山側→下流側→最下流端の順に埋立てることを想定
- ◆ 施設については、埋立て後の埋土の沈下状況を確認しつつ、山側水路→圃場・水路復旧→通路復旧の順に、埋立て後に行う
- ◆ 工事用車両の進出入口は図中○印のとおり想定しているが、工事实施に際し施工計画とともに都度検討を行う



※図面は、測量調査、詳細設計、関係機関協議の結果、今後変更となる可能性があります。
※工事の進め方は、詳細設計、地域との調整などにより、今後変更となる可能性があります。

— メモ —